

2018年10月31日

各位

会社名	日本ハム株式会社
代表者名	代表取締役社長 畑 佳秀
問合せ先	(コード番号 2282 東証第一部) 執行役員 コミュニケーション戦略本部 コーポレート・コミュニケーション部長 片岡 雅史 (TEL 06-7525-3031)

新球場建設に関するお知らせ

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、下記のとおり北海道北広島市に「北海道日本ハムファイターズ」の本拠地球場を建設することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、当該球場は、当社の連結子会社（2019年9月に設立予定）が保有・運営する予定です。

記

1. 新球場建設の経緯・理由

2016年12月19日に公表いたしました「新球場建設構想に関するタスクフォースの設置について」及び2018年3月26日に公表いたしました「新球場建設構想における候補地の決定及び準備会社（連結子会社）の設立に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社グループ内に設置した協働体制のタスクフォースにおいて、建設候補地の選定、新球場の基本設計及び事業としての実現可能性の検証等、建設に向けた具体的な取組みを進めてまいりました。

最良のプレー環境と先進技術を駆使した設備によってもたらされる臨場感溢れる空間と、食とスポーツを融合させたエンターテイメントを体験できる場を提供することで、ファン・顧客の満足度向上はもとより、地域社会の活性化や、当社グループ独自の取組みである食とスポーツを柱としたCSR活動のさらなる推進が可能となります。また、事業面においては、プロ野球興行としての収益獲得機会の拡大に加え、当社グループとしての新たなビジネスの創出にも繋がることを期待できます。以上の理由により、新球場の建設は中長期的な企業価値向上に資するものと考えております。

当社グループは、「食べる喜び」を企業理念のテーマとしており、食を通してもたらされる「おいしさの感動と健康の喜びを世界の人々と分かち合いたい」をグループブランドに込めた目指すべき姿として描いております。また、「食とスポーツで心と体の元気を応援」を「CSRにおける5つの重要課題」の一つに掲げております。将来的に新球場を基盤に展開される種々の取組みは、これら企業理念の実現、グループブランド価値の向上、戦略的CSRの推進に寄与するものと判断しております。

2. 新球場の概要について

(1) 球場名称	北海道ボールパーク（仮称）
(2) 仕様	天然芝・開閉式屋根
(3) 所在地	北海道北広島市共栄（きたひろしま総合運動公園）
(4) 金額（概算）	約 600 億円
(5) スケジュール （予定・計画）	2018 年 10 月：新球場建設の建設及び基本計画決定（本件） 2019 年 9 月：新会社設立 2020 年 5 月：建設着工 2023 年 1 月：竣工・引き渡し 2023 年 3 月：開業

3. 今後の見通し

新球場建設の決定が 2019 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微です。

以 上